

多機能型事業所 野いちご

平成29年度 事業計画

(1) 就労継続支援B型と生活介護の機能を相互活用した多機能施設としての特色を発揮

作業・日中活動の充実

- ・工房においては、下請け作業の継続、単価、効率を上げる。(生活介護との作業の委託契約による連携)
- ・喫茶は、更なる効率化への取り組みを進める。(人員配置等の見直し策の継続、メニュー作り等)
- ・作業体験、職場体験、施設外作業など、個々人の意向に沿い、計画的に取り組む。
- ・余暇活動の充実(少人数への対応による特別開所の実施)
(多機能型としての年間行事や社会体験活動への取り組みを検討する。)
- ・目標工賃 就労B 12,000円(28年度 11,745円)

(2) 社会活動の推進と社会参加の機会拡充

- ・作業活動のノウハウを活用し、近隣清掃、エコプラザによる資源回収等を推進すると共に、イベントへの参加など、利用者の社会参加(施設外活動)の機会を増やす。
- ・地域において、事業への理解を深めて頂くための様々な活動を検討する。

(3) 利用者の意向に沿った支援の充実を目指す。

- ・個別支援計画において、利用者の意向を反映させる。(本人、相談、モニタリングで、意向を聞き取る。)
- ・支援計画策定会議にて計画を検討する。半年ごとの見直し時期には検討会議を行う。
- ・生活介護事業の活動を通して、活動内容、支援の適正を、検討、見直しを図る。

(4) 職員の育成

計画的な各会議、研修により支援力、専門性の向上を目指す。

- ・事例検討を通じた対応会議(ケアカンファレンス)の導入。
- ・計画的な外部研修参加で専門知識、技術の取得を図る。
- ・会議、研修を柔軟な対応で進めていく。

(5) 施設整備(建設事業費)に備えた収益体制を目指す。

- ・各事業収支を明確にして、運営基盤を作る。
- ・各事業収益に沿った人員体制、経費運用を図る。
- ・職員全員が、コスト意識を持てるよう会計状況の共有化を進める。

(6) 就労支援について

作業活動を通して、技術や知識を高めていく中で、就労への意向、より良い工賃への意向がある利用者を中心に就労支援を行っていく。

施設外作業

就労意向のある利用者を中心に、計画的に施設外での活動を行っていく。

- ・企業工場内作業、職場体験、実習を行う。
- ・エコプラザ、除草作業など、施設外の活動に取り組む。

(7) 職員会議・研修

会議・研修名	内容	頻度・時期	参加者
事業別連絡会	就労継続支援B型・生活介護	月1～2回	主任指導員、支援員、各担当支援員
全体連絡会	全体の運営に関わる連絡、確認など行う	月1回	事務局、管理者、生活支援員・職業指導員
個別支援計画策定会議・検討会議	計画作成に伴う意見交換会議、半期ごとの支援計画の再検討会議。	年度、半期	サービス管理責任者・支援員・指導員
新規・利用者会議	新規の利用者の受入れ時に必要な事を話し合います。	随時	サービス管理責任者・支援員・指導員
活動確認会議	利用者の希望をくみあげ活動に繋がります。	毎日	指導員・支援員
対応会議（ケア・カンファレンス）	事例検討を通して、利用者の訴えや生活全般の様子を話し合い、支援力の向上を目指します。	随時	指導員・支援員
半期、年間反省会議	半期、年間の運営に関する様々な業務の実施状況を確認、振り返りを行います。	9月度後半 1月度後半	サービス管理責任者・支援員・指導員
事業計画会議	次年度の事業計画を立案するための意見交換会議	2月度前半	サービス管理責任者・支援員・指導員
虐待防止研修 （虐待防止リーダー）	虐待防止法について現状を踏まえ、理解を深めます。	半期ごと	指導員・支援員
防災研修・感染症対策研修	防災時の対応を学び訓練を行います。食中毒やウイルス感染等について学びます。	年に1回	指導員・支援員
外部研修	外部施設の視察や研修に参加します。	年2回以上	指導員・支援員

(8) 防災について

- ・ 防災・避難訓練／防災設備点検
各事業、それぞれの状況に合わせて計画的に実施する。
- ・ 地域の防災訓練に参加（工房）
- ・ 防災研修を年1回実施する。